Pioneer sound.vision.soul

コンパクトディスクプレーヤー

CDJ-800MK2

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目　次

ご使用の前に

基本操作

応用操作

その他

仕　様

1. 一般

形式 .... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク .... コンパクトディスク
電源 .... AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 17 W
動作温度 .... +5 ℃～+35 ℃
動作湿度 .... 5 %～85 %（結露のないこと）
質量 .... 4.0 kg
最大外形寸法
　............. 305（幅）×344.1（奥行）×108.5（高さ）mm

2. オーディオ部

周波数特性 .... 4 Hz ～ 20 kHz
SN比 .... 115 dB 以上（JEITA）
歪率 .... 0.006 %（JEITA）

3. 付属品

- 電源コード 1
- オーディオケーブル 1
- コントロールコード 1
- 強制イジェクトピン（本体底面に装着） 1
- 取扱説明書 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、DJ用アナログプレーヤー以上の操作性／音質／機能を備えたDJ向けCDプレーヤーです。

JOG DIAL

アナログターンテーブルを超える操作感覚を実現する直径206 mmの大型ダイヤル

● PITCH BEND
ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

● SCRATCH PLAY
VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと再生が停止し、ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに応じて再生します。また、ジョグダイヤルへのタッチ／リリース時の立ち上がりを調整することができ、新しいDJテクニックを可能にします。

● FRAME SEARCH
ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75秒)単位でポーズ位置を移動できます。

● SUPER FAST SEARCH
マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタン、フォルダーサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチ、フォルダーサーチより速いサーチができます。

ON JOG DISPLAY

ジョグダイヤル中央部に、ディスクの動作状態の表示、キューポイントの位置表示、音声メモリー状態表示、ジョグタッチ検出表示、VINYLモード表示などを行います。

CUE/LOOP MEMORY

本機はディスクごとのキューポイントやループポイントを、内蔵メモリーに記憶でき、ディスクに合わせて呼び出すことができます。

QUICK RETURN

VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと瞬時にキューポイントに戻ります。

REVERSE PLAY

リバースボタン(REV)を押してボタンを点灯すると逆方向に再生します。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100 mmの高性能スライダー
0.05 %単位(±10 %レンジ)のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

● TEMPO CONTROL RANGE
最大可変範囲が±10 %とWIDEから選択できます。

● MASTER TEMPO
曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

MP3 DJ PLAY

CD-ROMに収録されたMP3ファイルをDJ機能を使って再生できます。

CUE

● BACK CUE
キューポイントをメモリーして音出ししたあとキューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

● AUTO CUE
曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

● CUE POINT SAMPLER
メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループアウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

AUTO BEAT LOOP

曲のBPMを基に、自動的にループアウトポイントを設定してループプレイを行います。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能
ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、さまざまな可能性が広がります。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

SLOT IN

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

FADER START

パイオニアのDJミキサー(別売)と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

MULTI READ

CD-R、CD-RWディスク(音楽CDフォーマットまたはMP3で記録)の再生が可能です。ただし、ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズなどにより正しく再生できない場合もあります。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警 告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕

● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

〔使用方法〕

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注 意

〔設置〕

● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔使用方法〕

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

● お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

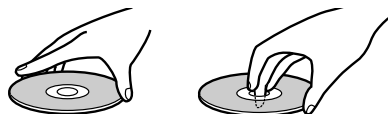
● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

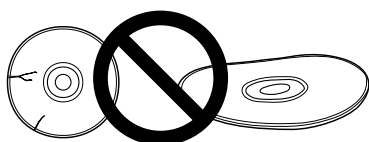
〔保守・点検〕

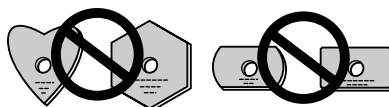
● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクの取り扱いについて

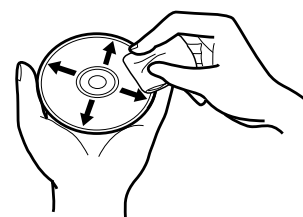
■ 信号面を触らないようにしてください。

■ レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

■ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。

■ 特殊な形のディスクについて

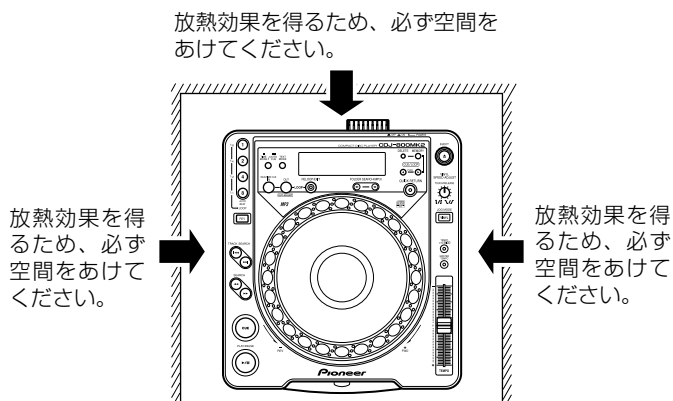
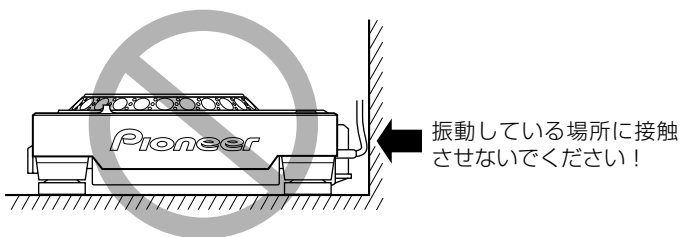
- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
  また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
  また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケースなどに収納して使用する場合に注意してください。

移動について

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。
ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

キャリングケースについて

ジョグダイヤル天面にはスイッチが内蔵されています。
キャリングケースに収納時に、ジョグダイヤルに力が加わらないようにしてください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に水滴が生じ (結露) 、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「**保証とアフターサービスについて**」(☞P.22)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
CD	CD-TEXT(注1)	CD-R(注2)	CD-RW(注2)
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

注1） TEXT表示について
表示できる文字数は、48文字までです。8文字を超えるときはスクロール表示になります。半角英数字および一部の記号のみ表示可能です(☞P.16)。

注2） CD-R/CD-RWディスクの再生について
本機は音楽CDフォーマットまたはMP3で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

8cm CDには、必ず8cm CDアダプターを取り付けてください(☞P.12)。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

■ コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■ CD-R/RWディスクについて
CD-R/RWディスクは、長時間のポーズ(もしくはキュースタンバイ)状態を続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。また、ループ機能を使用して特定の場所を極端に繰り返し再生した場合も同様の症状になる場合があります。
大切なディスクを使用される場合は、バックアップディスクの作成をお勧めします。

■ 「DualDisc」の再生について
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3再生について

MP3ファイルの種類には、固定ビットレート(CBR : Constant Bit Rate)と可変ビットレート(VBR : Variable Bit Rate)があります。本機ではCBRに加えてVBRも再生やDJプレイが可能ですが、VBRではCBRに比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先する場合はCBRで記録することを推奨します。

MP3再生を行うためには、下記フォーマットに従っていることが必要です。

MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、 ビットレート 32 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、 ビットレート 16 Kbps（ステレオ）～ 160 Kbps に対応しています。
	ID3 タグ	ID3 Ver1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティストを表示します。 半角英数字および一部の記号のみ表示可能です。
Disc フォーマット	ファイル拡張子	.mp3、.MP3、.mP3、.Mp3
	フォルダ階層	最大 8 階層 8 階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
	最大フォルダ数	99（フォルダ 99+ ルート 1）
	最大ファイル数	999（1 フォルダにつき）
	マルチセッション	マルチセッションには対応していません。 マルチセッションディスクの時は、最初のセッションのみ再生します。
	CD-R 記録方式	ISO9660 CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。 ディスクアットワンスまたはトラックアットワンスのみ対応しています。 パケットライトは対応していません。

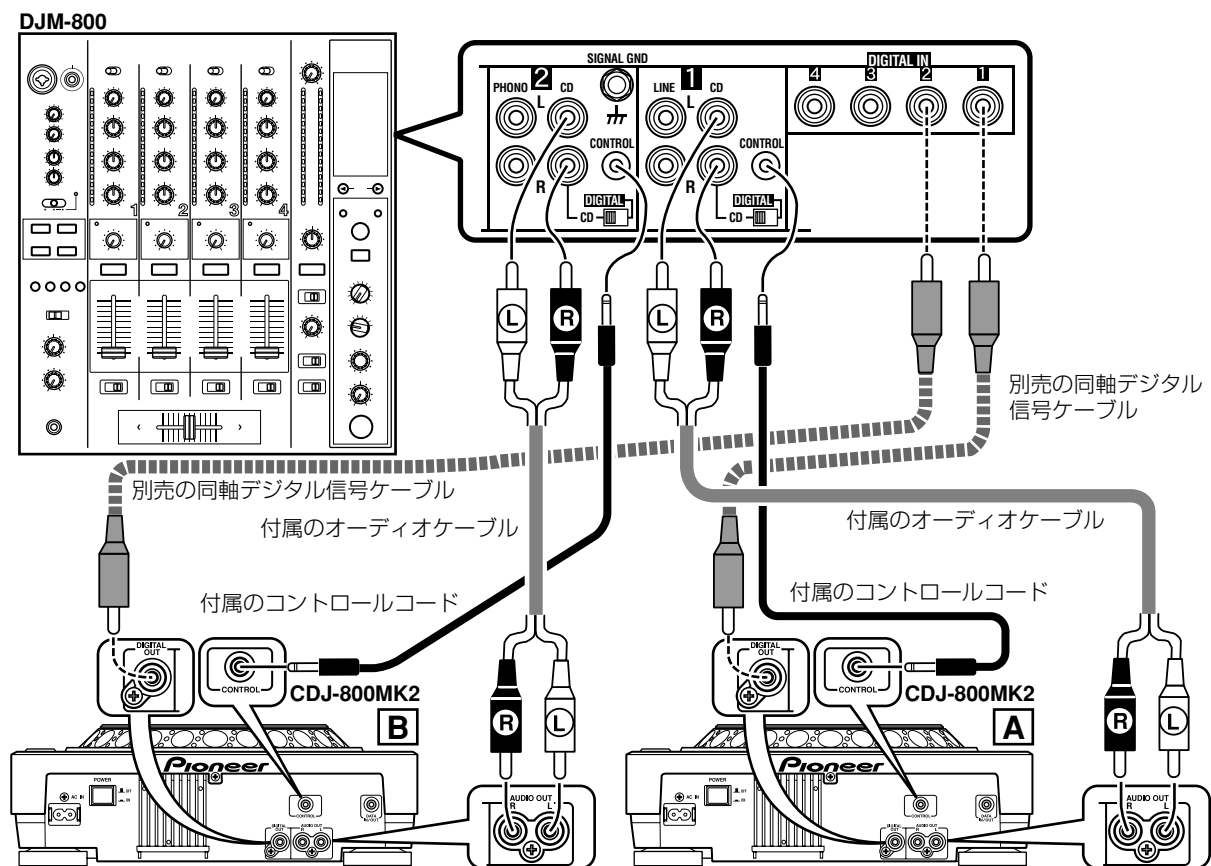
※ ファイルソート機能はありません。ディスクに記録された順で再生します。
※ CD-ROMに記録された、MP3ファイルを再生します。
※ フォルダー数が多くなるほど、起動時間は遅くなります。

接続のしかた

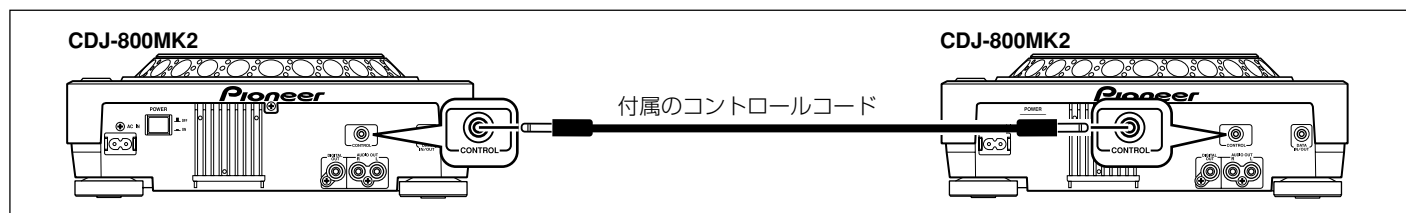
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

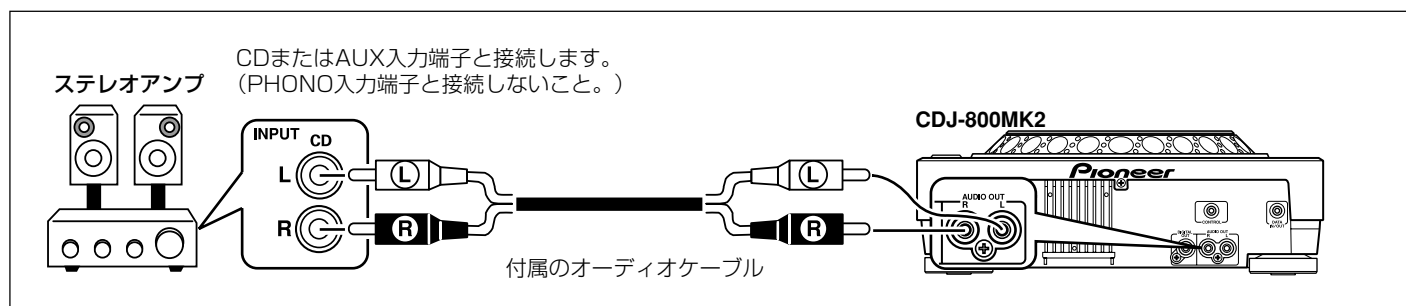
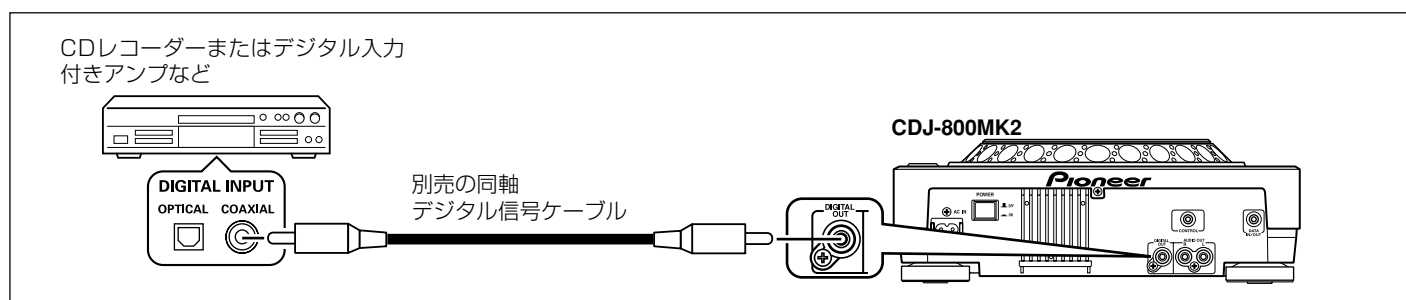
1. パイオニアのDJミキサーとの接続(音声出力およびコントロール端子の接続)

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
デジタル入力があるDJミキサー(DJM-800、DJM-1000など)とはデジタル接続が可能です。本機のDIGITAL OUT端子をDJミキサーのDIGITAL入力端子と別売の同軸デジタル信号ケーブルで接続します。

DJM-800と接続する場合

- DJM-1000と接続する場合は、CD/LINEの1つとA PLAYER、別のCD/LINEの1つとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。オーディオ信号をデジタル接続するときは、本機のDIGITAL OUTをDJM-1000のチャンネル4〜6のDIGITAL入力端子と別売の同軸デジタル信号ケーブルで接続してください。
- DJM-600、DJM-300、DJM-500と接続する場合は、CD1とA PLAYER、CD2とB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-909、DJM-707と接続する場合は、CH-1 CDとA PLAYER、CH-2 CDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。
- その他のオーディオミキサーと接続する場合は、本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続してください。(★ **PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。**)

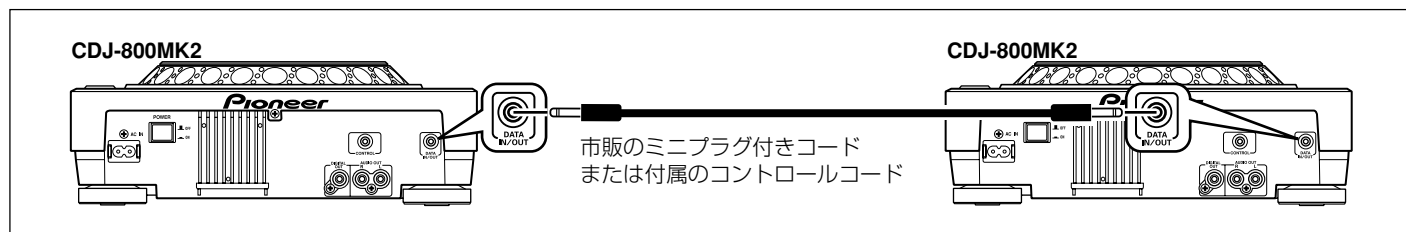
2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

付属のコントロールコードで2台のDJ用プレーヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行うことができます。(☞P.19)

3. その他の機器との接続

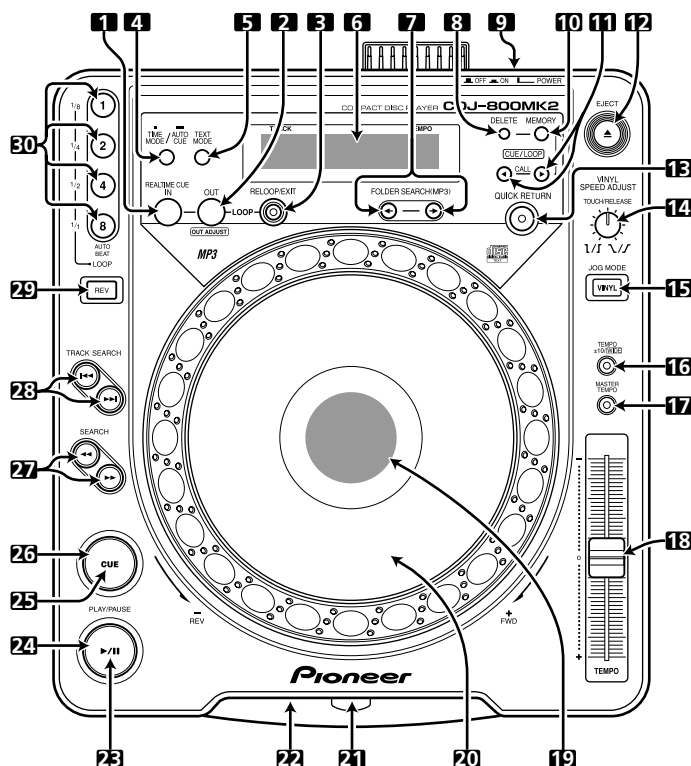
Ⓐ ステレオアンプとの接続(DJミキサーを使わない場合)

Ⓑ デジタル入力端子付き機器との接続

- デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます(CDグラフィックス非対応)。
  CDレコーダーなど接続される機器によっては録音機能などが制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。

4. プレーヤーの記憶データを別のプレーヤーにコピーする場合の接続

市販のミニプラグ付きコードまたは付属のコントロールコードで2台のプレーヤーCDJ-800MK2*のDATA IN/OUT端子どうしを接続すると、プレーヤーの記憶データ(キューポイントやループ)を、別のプレーヤーにコピーすることができます。(☞P.19)

* CDJ-800からCDJ-800MK2へのコピーも可能ですが、CDJ-800MK2からCDJ-800へのコピーはできません。

5. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称とはたらき

1 ループイン／リアルタイムキューボタン／インジケーター
(LOOP IN/REALTIME CUE)
リアルタイムキュー ☞P.15
ループインポイント入力 ☞P.17

2 ループアウト／アウトポイント修正ボタン／インジケーター
(LOOP OUT/OUT ADJUST)
ループアウトポイント入力 ☞P.17
ループアウトポイント修正 ☞P.18

3 リループ／イグジットボタン／インジケーター
(RELOOP/EXIT) ☞P.18

4 タイムモード／オートキューボタン
(TIME MODE/AUTO CUE)
TIME MODE：
押すたびに、表示部の時間表示が現在の再生曲の経過時間と残り時間(REMAIN)に切り換わります。
MP3の場合、再生する曲によっては残り時間(REMAIN)がすぐに表示されない場合があります。
● 電源をオフしても、TIME MODEは記憶されます。
AUTO CUE：
1秒以上押し続けるとオートキュー解除／設定を切り換えます。☞P.13
● 電源をオフしても、AUTO CUEのオン／オフは記憶されます。

5 テキストモードボタン(TEXT MODE)
ボタンを押すとTEXT表示モードになり、押すたびに、曲名／アルバム名／アーティスト名表示を切り換えます。☞P.16
● 時間表示にするときは、タイムモード／オートキューボタンを押してください。

6 表示部 ☞P.11････51～63

7 フォルダーサーチボタン(FOLDER SEARCH⬅、➡) ☞P.14
MP-3再生時に、階層構造のCD-ROMのフォルダーを指定方向に送ります。

8 キュー／ループデリートボタン
(CUE/LOOP DELETE) ☞P.19
内蔵メモリーに記憶された、キューポイントやループポイントを消去します。

9 電源スイッチ(POWER ■OFF/▂ON)
本機の後面にあります。

10 キュー／ループメモリーボタン
(CUE/LOOP MEMORY) ☞P.19
内蔵メモリーに、キューポイントやループポイントを記憶します。

11 キュー／ループコールボタン
(CUE/LOOP CALL◄、►) ☞P.19
内蔵メモリーに記憶されたキューポイントやループポイントを呼び出します。

12 イジェクトボタン(EJECT⏏)
ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

13 クイックリターンボタン／インジケーター
(QUICK RETURN) ☞P.17
ジョグモード切換ボタンが「VINYL」のときにオンすると、ジョグダイヤルの天面を押すとキューポイントに戻ります。

14 バイナルモードタッチ／リリース応答調整つまみ
(VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE)
ジョグモード切換ボタンが「VINYL」のとき、ジョグダイヤルの天面を押したときに再生が止まるまでの減速スピード、および天面から手を離したときに再生が立ち上がる加速スピードを調整します。

15 ジョグモード切換ボタン／インジケーター
(JOG MODE VINYL)
VINYLモード:ボタンが点灯します。再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回転すると回転に応じた音声が出ます。
● 電源をオフしてもジョグモードは記憶されます。
CDJモード:ジョグダイヤルの天面を押しても、上記の動作はしません。

16 テンポコントロールレンジ切換ボタン／インジケーター
(TEMPO ±10/WIDE)
押す度に、テンポ調整つまみの可変範囲(±10%/WIDE)が切り換わります。「WIDE」選択時にボタンが点灯します。
● CD再生時は、「WIDE」選択時の可変範囲が±100 %になり、MP3再生時は±16%になります。

17 マスターテンポボタン／インジケーター
(MASTER TEMPO) ☞P.15
押すたびにマスターテンポ機能をオン／オフします。

18 テンポ調整つまみ(TEMPO)
手前(＋)に動かすと再生テンポが早くなり、奥(－)に動かすと遅くなります。

19 ジョグダイヤル表示部 ☞P.11････71～75

20 ジョグダイヤル(＋FWD/－REV) ☞P.15

21 ディスク挿入口 ☞P.12

22 強制イジェクトホール ☞P.12

23 プレイ／ポーズインジケーター(►/❚❚)
プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

24 プレイ／ポーズボタン(PLAY/PAUSE►/❚❚) ☞P.13

25 キューインジケーター(CUE) ☞P.14
キューポイントが設定された状態で点灯します。ポーズ状態の時に点滅します。

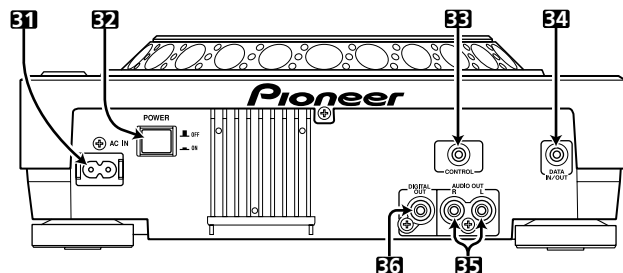
26 キューボタン(CUE)
【キューポイントの設定】 ☞P.14
【バックキュー】 ☞P.15
【キューポイントサンプラー】 ☞P.15

27 サーチボタン(SEARCH◄◄、►►) ☞P.13

28 トラックサーチボタン(TRACK SEARCH|◄◄、►►|)☞P.14

29 リバースボタン／インジケーター(REV) ☞P.18
押してボタンを点灯するとリバース再生します。

30 オートビートループボタン／インジケーター
(AUTO BEAT LOOP 1、2、4、8) ☞P.18
(1/8、1/4、1/2、1/1) ☞P.17
曲のBPMを基に1拍、2拍、4拍、8拍のループプレイをします。
マニュアルでループが作られているときは、ループ分割短縮ボタンとして働きます(1=1/8、2=1/4、4=1/2、8=1/1)。

後面パネル

31 AC インレット
付属の電源コードを使って壁の電源コンセントと接続します。

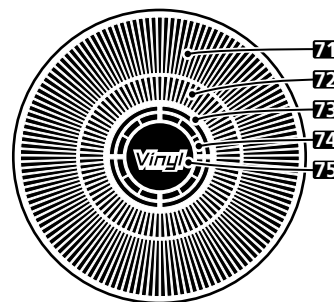
32 電源スイッチ(POWER ■OFF、▁ON)

33 コントロール端子(CONTROL)
付属のコントロールコードを使って、パイオニアのDJミキサーと接続すると、DJミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
また、他のDJプレーヤーのコントロール端子と接続して、自動交互再生(リレープレイ)を行うことができます。☞P.19

34 データ入出力端子(DATA IN/OUT)
別売のミニプラグ付きコード(付属のコントロールコードでも可)で2台のCDJ-800MK2どうしを接続すると、キューポイントやループなどの記憶データをコピーすることができます。

35 オーディオ出力端子(AUDIO OUT L、R)
RCAタイプのアナログオーディオ出力端子です。

36 デジタル出力端子(DIGITAL OUT)
デジタル入力対応のDJミキサーやAVアンプ、CDレコーダーなどを接続する、RCAタイプの同軸デジタル出力端子です。
DJ機能を含めたすべての機能に対応した出力が得られますが、サブコードを含まないオーディオデータのみが出力されます(CDグラフィックス非対応)。

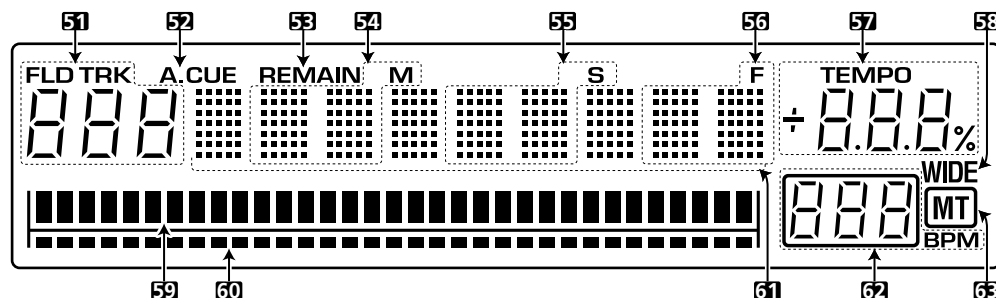
ジョグダイヤル表示部

71 動作表示
一周135フレームとして、プレイ位置を表示します。再生時は回転し、ポーズ中には停止します。

72 キューポイント位置表示
キューポイントの位置を表示します。

73 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中は点滅し、十分に書き込まれると点灯します。点滅中は、リアルタイムキューポイントの記憶ができない場合があります。スクラッチにより、メモリー不足になった場合も点滅します。

74 ジョグタッチ検出表示
VINYLモード時、ジョグダイヤル天面を押したときに点灯します。

75 VINYLモード表示(Vinyl)
VINYLモードのときに点灯します。

表示部

51 トラックナンバー／フォルダーナンバー表示(TRK/FLD)
オーディオCD再生時は「TRK」が点灯し、トラックナンバーを2桁表示します(01～99)。
MP3再生時は「TRK」が点灯し、トラックナンバーを3桁表示します(01～999)。また、フォルダーサーチ中は「FLD」が点灯し、フォルダーナンバーを2桁表示します(00～99)。

52 オートキュー表示(A.CUE)
オートキューがオンのときに点灯します。

53 リメイン表示(REMAIN)
曲の残り時間であることを示します。

54 時間表示(分)(M)

55 時間表示(秒)(S)

56 フレーム表示(F)
75フレームで1秒です。

57 演奏速度表示(TEMPO)
テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を表示します。

58 テンポ調整レンジ表示(WIDE)
テンポコントロールレンジ切換ボタンで「WIDE」を選ぶと点灯します。

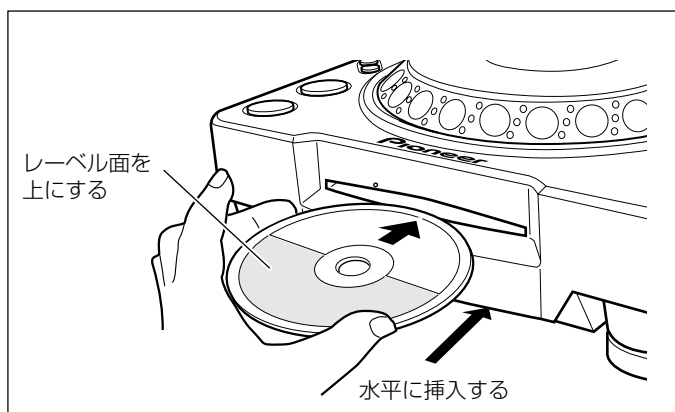
59 プレーイングアドレス表示
再生曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲をフルスケールのバーグラフとして表示します。
- 経過時間表示のときは、左から点灯します。
- 残り時間表示のときは、左から消灯します。
- 曲の残り時間が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。

60 メモリーポイント表示
選択されたトラックにキューメモリーやループメモリーが登録されているときに、その開始位置を表示します。

61 ドットマトリックス表示部(7 x 5ドット x 9)
TEXT表示、ガイド表示、他を行います。
TEXTは最大48文字まで表示します(9文字以上はスクロール表示)。☞P.16

62 BPM表示(0～360 BPM)
再生中の曲のBPMを表示します(検出範囲70～180BPM)。
曲によってはBPMカウンターでBPMを測定できない場合があります。

63 マスターテンポ表示(MT)
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

ディスクの入れ方・出し方

1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態でディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

2. ディスクを入れる。
   - ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
   - 8 cmディスクの場合はアダプターを装着してください。
   - 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
   - ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。
3. EJECTボタン(▲)を押してディスクを取り出す。
   - ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

ご注意：
「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。
「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

CDシングル(8 cmディスク)を再生するときのご注意：

① CDシングル(8 cmディスク)を再生するときは、必ず8 cm CDアダプターを使用してください。CDプレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8 cmディスクを挿入したときは、直ちにイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。イジェクトボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。

② 8 cmディスク用アダプターは マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

ディスクの強制イジェクトについて

イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。
強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きます。

② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。**付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。**
付属品のピンを強制イジェクトホールに**根元まで**押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5～10 mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編

ジョグダイヤル

オートキュー機能

ディスクをセットした時とトラックサーチの時および曲のチェンジの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P. 14)を自動的に行う機能です。
10秒間探して見つからない場合は、トラックの頭をキューポイントに設定します。

- **オン／オフするには**
  TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン／オフできます。
  表示部のオートキューインジケーター(A.CUE)が点灯するとオンです。
  - 電源をオフしてもAUTO CUEのオン／オフ状態は記憶されます。
  - オートキューレベルを可変することができます。

■ オートキューレベルの可変

1. TIME MODE/AUTO CUEボタンを5秒以上押し続ける。
   - 表示部に「−60db」(初期状態の場合)と表示されます。
2. CUE/LOOP CALLボタン(◀、▶)を押して値を変更する。
   - −36 dB、−42 dB、−48 dB、−54 dB、−60 dB、−66 dB、−72 dB、−78 dBから選べます。
   - TIME MODE/AUTO CUEボタンを押すか、15秒間放置するとレベル可変モードは解除されます。
   - 電源をオフしても、設定レベルは記憶されます。

再生を始めるには

1. **プレーヤーにディスクを入れる。**
   本機はディスクを高速回転させて高いパフォーマンスを得ています。このため、ディスクのローディングに数秒間を要します。
2. **オートキュー機能オン時は、PLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。**
   - 表示部の時間表示が点灯してから押してください。表示したトラックの無音部分を飛ばして、瞬時に再生を始めます。

   1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをします。キューインジケーター(CUE)が点灯し、PLAY/PAUSEボタン▶/❚❚のインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。
   PLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押すと次曲の再生がスタートします。

   オートキュー機能オフ時は、一曲目から再生が自動的に始まります。
   - オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に再生を続けます。
   - 最終曲の再生が終わると、再生を終了します。

再生を終了するには

1. EJECTボタン(▲)を押す。
   - 再生を終了し、ディスクが出てきます。
   - 本機にはストップボタンはありません

レジューム機能

- 誤ってEJECTボタンを押した場合でも、すぐに(表示部に「EJECT」が表示される以前に)PLAY/PAUSEボタンを押せば、EJECTボタンを押す直前の状態になります。ただし、この間の音声出力は停止します。
- ディスクのイジェクト後、再度同じディスクを挿入すると、イジェクトする直前の状態になります(ループを除く)。
- ディスクのイジェクト後、FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)やTRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)を押すと、レジューム機能は解除されます。

再生を一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。

- PLAY/PAUSEボタンのインジケーター(▶/❚❚)とキューインジケーター(CUE)が点滅し、再生を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- CDJモードでは、ポーズモード中も再生音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ジョグモードがVINYLの時は、再生がゆっくりと減速して止まる場合があります(☞P.17「ブレーキをするには」)。
- ポーズ状態で100分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば再生を再開します。
- 「END」表示のままで100分間以上操作しないと、再生状態でも停止します。

早送り／早戻しをするには

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

▶▶ボタンを押している間、早送りします。
◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。
- MP3でVBRの場合、早送り、早戻しの速さが遅くなります。

■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- MP3でVBRの場合、高速にならず通常の早送り、早戻しとなります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- CDの場合、ジョグダイヤルの回転スピードに応じて早送り、早戻しのスピードが変化します。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。

ジョグダイヤル

スキップするには

TRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)を押す。

- 1回押すごとに、指定方向の曲にスキップします(再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回⏮を押してください)。MP3のときは、指定された方向で最初に見つかったトラックにスキップし、同一フォルダー内のみがスキップの対象になります。CD-ROMディスクを挿入し、フォルダーサーチをしなかった場合は、ルートディレクトリに入っているトラックだけがスキップの対象になります。ただし、ルートディレクトリにトラックがない場合は、フォルダーの一番若い番号のトラックから再生します。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで続けて2回⏮を押すと最終曲にスキップします。MP3のときは、一番若い番号のトラックからバックすると同一フォルダーの最後のトラックにスキップします。
- 最終曲から⏭を押すと最初の曲(トラックNo.1)にスキップします。MP3のときは、最後のトラックから進めると、同一フォルダーの一番若い番号のトラックへスキップします。

■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

フォルダーサーチするには(MP3のみ)

階層構造を持っているCD-ROMから選曲するときに使用します。

FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)を押す。

- 1回押すごとにフォルダーが指定方向に送られます。
  ルートディレクトリでは、フォルダー番号「00」、フォルダー名「ROOT」が表示されます。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 一番若いフォルダーからバックすると、最終フォルダーをサーチします。
- 最終フォルダーから進めると、一番若いフォルダーをサーチします。
- 再生可能なトラックのないフォルダー(空きフォルダー)は無視され、 次のフォルダーをサーチします。

■ スーパー・ファースト・フォルダーサーチ

FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってフォルダー番号を指定方向へ送ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。FOLDER SEARCHボタンの方向は無視されます。
- FOLDER SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

キューポイントの設定

キューポイントをメモリーしておくと、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

■ CDJモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(▶/❙❙)を押して一時停止状態にする。

2. キューポイントの正確な位置を探す。

● フレームナンバーでキューポイントを決める。

1フレーム単位(75フレーム＝1秒)で頭出しの位置が設定できます。
ジョグダイヤルまたはSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で135フレーム、SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。MP3の場合は同一フォルダー内のみフレームを送ることができます。

● 音声を聞いてキューポイントを決める。

ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

3. フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。

- 音声がミュートされ、表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。
- キューポイントは上書きしないかぎり、フォルダーサーチ後も記憶しています(MP3)。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. サーチボタン(◀◀、▶▶)を押して音出しポーズ状態にする。

3. 上記の「キューポイントの設定(CDJモードの場合)」の手順2、手順3を行う。

■ VINYLモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、ジョグダイヤルの天面を押さえるかPLAY/PAUSEボタン(▶/❙❙)を押して一時停止状態にする。

2. ジョグダイヤルの天面を押さえたまま回し、再生を開始したい音声の直前まで戻す。

3. 音声が目的の頭出しポイントになったら、ジョグダイヤルの天面を押さえたままCUEボタンを押す。

- 表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. 上記の「キューポイントの設定(VINYLモードの場合)」の手順2、手順3を行う。

- CDJモードと同様に、SEARCHボタン(◀◀、▶▶)で修正することもできます。

■ リアルタイムキュー

再生中、頭出ししたいポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

■ キューポイントを確認するには（キューポイントサンプラー）

キューポイントを設定後、CUEボタンを押し続ける。

- CUEボタンを押している間、頭出しした音を聞くことができます。
- キューポイントサンプラー中にCUEボタンを離すと、バックキューを行います。
- MP3の場合は、同一フォルダー内のみキューポイントサンプラーが可能です。

■ キューポイントに戻るには（バックキュー）

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定したキューポイントに戻ります。

2. PLAY/PAUSEボタン（►/▮▮）を押す。

- キューポイントから瞬時に再生します。
- ジョグモード（CDJ/VIMYL）がVINYLモードでクイックリターンONのときは、キュー待機中にジョグダイヤル天面を押して離してもキューポイントから再生します。
- MP3の場合は同一フォルダー内でバックキューが可能です。キューポイントは上書きしないかぎり、フォルダーサーチ後も記憶しています。

再生スピードを変えるには

テンポ調整つまみを前後にスライドする。

手前（＋）に動かすと再生が早くなり、奥（－）に動かすと再生が遅くなります。

- 再生スピード（テンポ）の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます。（☞P.15「マスターテンポをかける」）

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO ±10/WIDEボタンを押す。

押す度にTEMPOつまみの可変範囲（±10 %/WIDE）が切り換わります。±10 %では0.05 %単位、WIDEではCD再生時は0.5 %単位、MP3再生時は0.1 %単位で調整できます。

- CD再生時は、WIDEの可変範囲は±100 %となります。MP3再生時は、±16 %となります。
- 可変範囲がWIDEのとき、TEMPO ±10/WIDEボタンが点灯し、表示部の「WIDE」インジケーターが点灯します。
- 電源オン時は±10 %に設定されます。
- －100 %では再生は止まります。

マスターテンポをかける

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

MASTER TEMPOボタンと表示部の「MT」が点灯し、TEMPOつまみでスピード（テンポ）を変えても、音程（キー、ピッチ）は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。
- 電源オン時はオフに設定されます。

ジョグダイヤルの機能

1. 再生中に回す。（ピッチベンド）

（ジョグモード（CDJ/VINYL）がVINYLの場合は、ジョグダイヤルの外周斜面を操作してください。天面を押すと別の動作になります。）

- 回転させた分、加速（FWD+）・減速（REV－）します。リバース再生モードでは、加速（REV－）・減速（FWD+）になります。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。

2. 再生中に回す。（スクラッチプレイ）

応用操作編の「スクラッチプレイをするには」をご覧ください。

3. ポーズ時に回す。（フレームサーチ）

ジョグモード（CDJ/VINYL）がCDJの場合は、音出しポーズになります。ジョグモード（CDJ/VINYL）がVINYLの場合は音無しポーズになり、ジョグダイヤルの回転スピードに応じたスピードでCDの音声を再生します。）

- 1フレーム単位でポーズ位置が移動します。
- ジョグダイヤルを1回転すると1.8秒分（135フレーム）のCD音声が再生されます。

4. 再生中またはポーズ時に回す。（スピン）

応用操作編の「スピンをするには」をご覧ください。

5. 再生中、サーチボタンを押しながら回す。（スーパー・ファースト・サーチ）

SEARCHボタン（◄◄、►►）を押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回すと、回転方向にさらに高速でサーチします。

- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

6. トラックサーチボタンを押しながら回す。（スーパー・ファースト・トラックサーチ）

TRACK SEARCH（⏮、⏭）ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なトラックサーチをすることができます。

- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみ可能です。

7. フォルダーサーチボタンを押しながら回す（MP3再生時）。（スーパー・ファースト・フォルダーサーチ）

FOLDER SEARCH（⬅、➡）ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをフォルダーサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なフォルダーサーチをすることができます。

- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。FOLDER SEARCHボタンの方向は無視されます。
- FOLDER SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

ご注意：

ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物をのせたり、強い力を加えないようにしてください。飲料などをのせないでください。こぼれて製品内部に入り、故障を起こすことがあります。

違う曲どうしをミックスする(つなぎ)

(例)　現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
- トリム、CHフェーダー、マスターVRを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。

1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH1側)にしておく。
- 曲Aがスピーカーから出ています。

2. プレーヤーCD2にCDをセットする。

3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)を押して曲Bを選ぶ。

4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。

5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
- スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。

6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。

① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。
- ジョグモード(CDJ/VINYL)がCDJの場合は音出しポーズ状態になり、VINYLの場合は音無しポーズ状態になります。

② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。

③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
- 無音になり、頭出しを完了します。

7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。
- スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
- ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。

8. プレーヤーのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Par Minutes)を合わせる。

曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOつまみを動かす。
- BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。

9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
- プレーヤーCD2はキューポイントでポーズ状態になります。

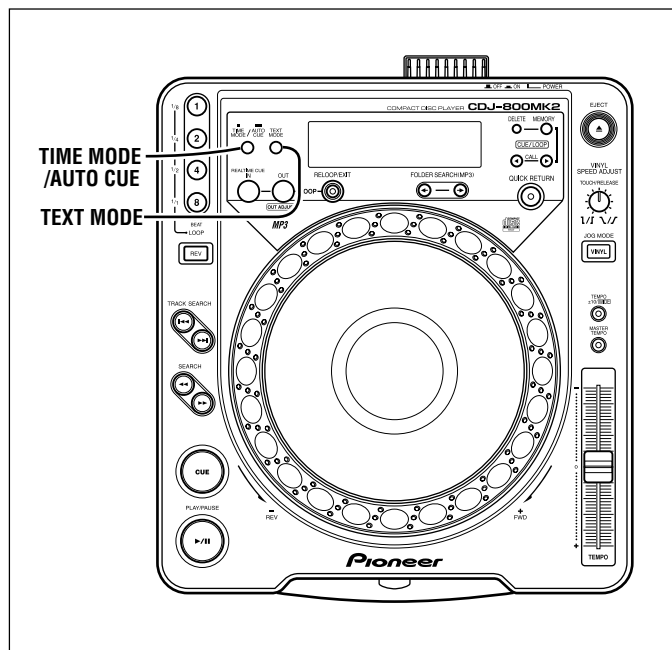
10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。
- 曲Bがスタートします。

11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERつまみを徐々に右側(CH2側)に動かす。
- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- DJミキサーのCROSS FADERつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、CROSS FADERつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

■ フェーダースタートプレイ

パイオニアのDJミキサーのクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。
さらに、CROSS FADERつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

TEXT表示について

TEXT MODEボタンを押してTEXT表示モードにすると、TEXT MODEボタンを押す度にCD-TEXTの曲名／アルバム名／アーティスト名を表示します。MP3再生時は、ID3タグのタイトル名またはファイル名／ID3タグのアルバム名／ID3タグのアーティスト名を表示します。

- それぞれ48文字まで表示可能で、8文字を超える場合はスクロール表示になります。
- 表示できる文字は、半角英数字および一部の記号です。
- 対応するテキストが無い場合は「NO TEXT」を表示します。

TEXT表示の曲名が選択されたときにディスクを挿入するか、ディスク挿入後にTEXT表示の曲名を選択するかトラックサーチ等で再生トラックが変化したときに、「♪」アイコンに続き曲名(MP3ではID3タグのタイトル名またはファイル名)が表示されます。
また、MP3の場合は曲名に続きビットレートを表示します。

♪　CDJ-800MK2　【128Kbps】

TEXT表示のアルバム名が選択されたときにディスクを挿入するか、ディスク挿入後にTEXT表示のアルバム名を選択すると、「💿」アイコンに続きアルバム名(MP3ではID3タグのアルバム名)が表示されます。

💿　Pioneer

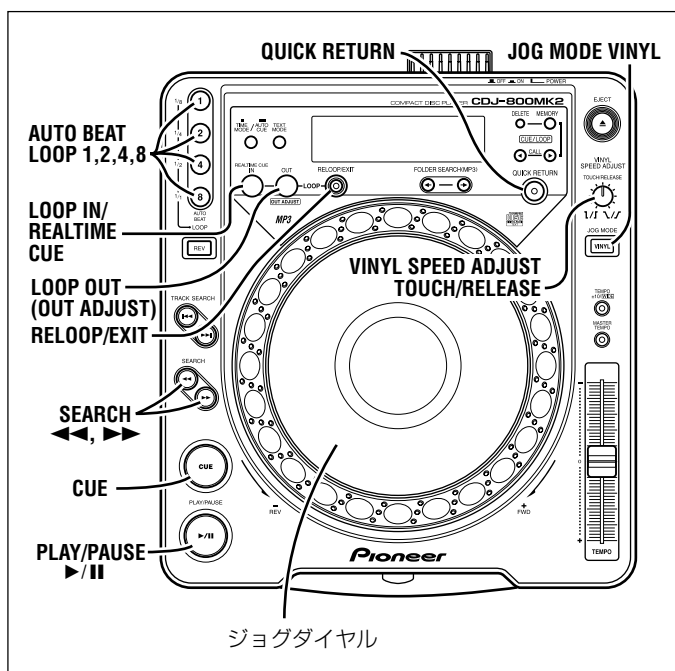
TEXT表示のアーティスト名が選択されたときにディスクを挿入するか、ディスク挿入後にTEXT表示のアーティスト名を選択するかトラックサーチなどで再生トラックが変化したときに、「👤」アイコンに続きアーティスト名(MP3ではID3タグのアーティスト名)が表示されます。

👤　Pioneer PRO DJ

MP3でフォルダーサーチを行うとフォルダー名を表示します。

PioneerDJ

- 時間表示にするときはTIME MODE/AUTO CUEボタンを押します。

応用操作編

スクラッチプレイをするには

ジョグモードをVINYLにすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた再生ができます。

1. JOG MODE VINYLボタンを押して、ボタンを点灯する。
   - ジョグダイヤルの「Vinyl」インジケーターが点灯します。
2. 再生中にジョグダイヤルの天面を押す。
   - 再生が減速されて停止します(停止するまでの減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。再生が減速されて停止する前にジョグダイヤルを回すと、減速途中で音声が停止し、手順3のジョグダイヤルの回転に応じた再生になります。
3. ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す。
   - ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。
4. ジョグダイヤルの天面から手を離す。
   - 再生が加・減速されて元の状態に戻ります(再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。

■ ジョグダイヤルの天面を押した時に、再生が減速して停止するまでの時間、およびジョグダイヤルの天面から手を離した時に再生が元の状態に戻るまでの時間を設定する

VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASEつまみを回す。
- 再生が停止するまでの減速スピード(応答特性)、および再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)を調節できます。

スピンをするには

VINYLモードでプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押してポーズにしたあと、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向で再生されます。

ブレーキをするには

- VINYLモードでプレイ中にPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押してポーズにすると、VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASEつまみに応じた速度で音声が止まります。
- もう一度PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押してプレイにすると、VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASEつまみに応じた速度で音声が立ち上がります。

クイックリターンをするには

ジョグモードがVINYLにのとき、ジョグダイヤルの天面を押すことにより、瞬時にキューポイントに戻ることができます。

1. JOG MODE VINYLボタンを押して、ボタンを点灯する。
   - ジョグダイヤルの「Vinyl」インジケーターが点灯します。
2. QUICK RETURNボタンを押して、ボタンを点灯する。
   - ジョグダイアル表示部のキューポイント位置表示が点滅します。
3. 再生中にジョグダイヤルの天面をを押す。
   - キューポイントが入力されていれば、瞬時にキューポイントに戻ります。キューポイントが入力されていない場合は戻りません。
   - ループ再生中に押したときもループのインポイント(キューポイント)に戻ります。
   - MP3の場合は、同一フォルダー内でクイックリターンが可能です。

ループ再生をするには

■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押して再生する。
2. 再生中またはポーズに、ループインポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。
   - あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
3. 再生中、ループアウトポイントでLOOP OUTボタンを押す。
   - AUTO BEAT LOOP 8(1/1)ボタンが点灯します。
   - インポイントからアウトポイント間でループプレイを開始します。
   - MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックでのみループ設定が可能です。
   - ループが設定されるとRELOOP/EXITボタンが点灯します。

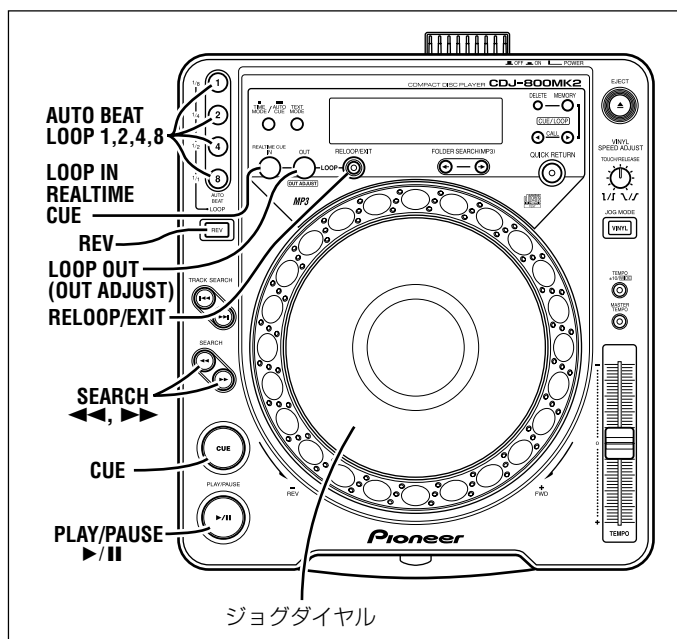
■ ループの長さを分割短縮する

再生中やポーズ中にマニュアルでループを作ると、AUTO BEAT LOOP 8(1/1)ボタンが点灯します。

AUTO BEAT LOOPボタン(1、2、4または8)を押す。
- AUTO BEAT LOOP 1(1/8)ボタンを押すと、押されたボタンが点灯し、ループインポイントからループの全長の1/8のところがループアウトポイントになってループ再生を開始します。
- AUTO BEAT LOOP 2(1/4)ボタンを押すと、押されたボタンが点灯し、ループインポイントからループの全長の1/4のところがループアウトポイントになってループ再生を開始します。
- AUTO BEAT LOOP 4(1/2)ボタンを押すと、押されたボタンが点灯し、ループインポイントからループの全長の1/2のところがループアウトポイントになってループ再生を開始します。
- AUTO BEAT LOOP 8(1/1)ボタンを押すと、押されたボタンが点灯し、ループインポイントからループの全長の1/1のところがループアウトポイントになってループ再生を開始します。

ループ設定後、LOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押しながらAUTO BEAT LOOPボタンを押すと以下のように動作します。
- AUTO BEAT LOOP 1(1/8)ボタンを押すと、1/8 LOOP(最初に組んだループの1/64)。
- AUTO BEAT LOOP 2(1/4)ボタンを押すと、1/4 LOOP(最初に組んだループの1/32)。
- AUTO BEAT LOOP 4(1/2)ボタンを押すと、1/2 LOOP(最初に組んだループの1/16)。
- AUTO BEAT LOOP 8(1/1)ボタンを押すと、1/1 LOOP(最初に組んだループの1/8)。

- RELOOP/EXITボタンを押すと、ループ再生を解除し、以前のループモード(オート／マニュアル)に戻ります。

ジョグダイヤル

■ 曲のBPMを基に自動的にループを作るには（オートビートループ）

再生中またはポーズ中にAUTO BEAT LOOPボタン(1、2、4または8)を押す。

- 押したボタンが点滅し、曲のBPMからループアウトポイントを自動的に設定してループ再生を開始します。
- AUTO BEAT LOOP 1ボタンを押すと、押した時点から1拍後がループアウトポイントになります。
- AUTO BEAT LOOP 2ボタンを押すと、押した時点から2拍後がループアウトポイントになります。
- AUTO BEAT LOOP 4ボタンを押すと、押した時点から4拍後がループアウトポイントになります。
- AUTO BEAT LOOP 8ボタンを押すと、押した時点から8拍後がループアウトポイントになります。
- オートビートループ設定後、再びAUTO BEAT LOOPボタン（1、2、4または8）を押すと、設定してあるループインポイントのまま、曲のBPMからループアウトポイントを自動的に設定し、ループ再生を開始します。

再生中にLOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押しながらAUTO BEAT LOOPボタンを押すと以下のように動作します。

- AUTO BEAT LOOP 1(1/8)ボタンを押すと、1/8 LOOPができます。
- AUTO BEAT LOOP 2(1/4)ボタンを押すと、1/4 LOOPができます。
- AUTO BEAT LOOP 4(1/2)ボタンを押すと、1/2 LOOPができます。
- AUTO BEAT LOOP 8(1/1)ボタンを押すと、1/1 LOOPができます。

- RELOOP/EXITボタンを押すと、ループ再生を解除し、以前のループモード（オート／マニュアル）に戻ります。

■ ループを抜け出す（解除する）には

ループプレイ中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループプレイ中に、LOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンを押す。

- 表示部にアウトポイントの時間が表示され、LOOP OUTボタンは速い点滅に、LOOP IN/REALTIME CUEボタンは消灯に変わります。

2. SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す、またはジョグダイヤルを回す。

- 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
- MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみで、ループ修正が可能です。
- ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
- スクラッチ中に、ループアウトポイントの修正はできません。
- LOOP OUTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループ再生に戻ります。

※ AUTO BEAT LOOP 8（1/1）ボタンが点灯中にループアウトポイントの修正モードに入ると、AUTO BEAT LOOP 8（1/1）ボタンが点滅し、ループアウトポイントの修正が更新されます。
AUTO BEAT LOOP 4、2または1ボタンが点灯中にループアウトポイントの修正モードに入ると、ループアウトポイントの修正はできますが更新されません。ここでAUTO BEAT LOOPボタンを押してループを分割短縮再生しようとすると、修正前の元のAUTO BEAT LOOP 8（1/1）ボタンが点灯中に作ったループを基準に1/8、1/4、1/2、1/1のループ再生になります。

■ 再度ループに戻るには（リ・ループ）

ループ解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。
- オートビートループが設定してあったときは、オートビートループモードでループプレイを再開します。
- MP3再生時は、違うフォルダーのループへはリ・ループできません。

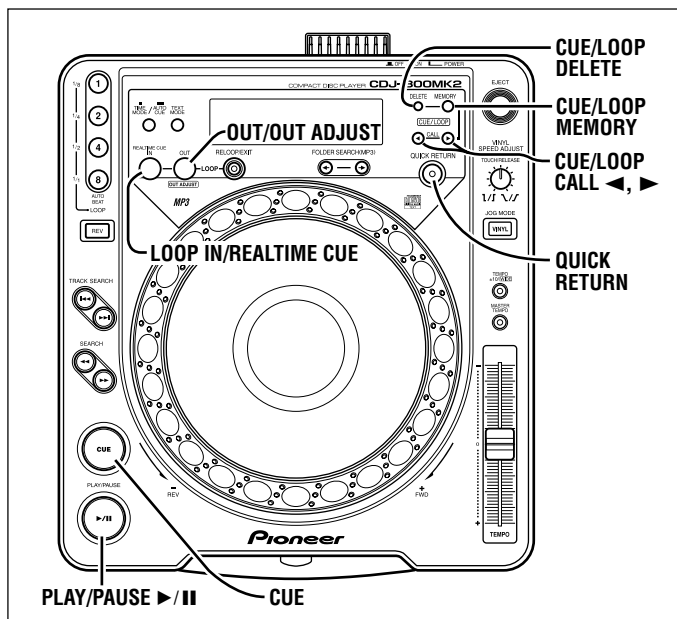
リバース再生をするには

REVボタンを押し、ボタンを点灯する。

逆方向に再生します。

- ジョグダイヤルの回転による再生の加・減速が逆向きになります。
- リバース再生中は、リ・ループはできません。
- 15秒以上のループはシームレスなリバース再生できません。
- トラックサーチ、ループなどを行うと、1〜2秒間音声メモリー書き込み表示（ジョグダイヤル表示部）が点滅して、スクラッチ／リバースの操作が行えないことがあります。
- MP3の場合は、フォルダーをまたいでのリバース再生は行えません。
- MP3の場合、再生する曲によってはリバース再生がすぐに始まらない場合があります。（表示部に「Searching」と表示し、再生前に演奏時間情報を読み込む場合があります。）

フェーダースタートプレイについて

本機のコントロール端子（CONTROL）とパイオニアのDJミキサーのコントロール端子(CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻す（バックキューする）ことができます。（接続方法は8ページを参照してください。）

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ

本機および他のCDJシリーズのCDプレーヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。☞ P. 9

- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします（表示部のA.CUEインジケーターが点灯）。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に再生するプレーヤーの再生を開始する。

2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に再生を開始する。

3. 始めに再生していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。

- この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互再生ができます。
- 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と再生することができます。
- 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。
☞ P. 14「キューポイントの設定」参照

ご注意

- **2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。**
- **再生中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏を始めることがあります。**
- **フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。**

キューポイント／ループポイントメモリー

本機は、ディスクごとのキューポイントやループポイントを、内蔵メモリーに記憶できます。
内蔵メモリーには、ディスク1枚あたり10ポイントのキュー/ループポイントがディスク800枚分まで記憶できます。ディスク800枚分を超えると、使われていない最も古いデータから消去されます。

- ループは1つで2ポイント（IN/OUT）になります。

■ キューポイントを記憶する

1. オートキュー機能またはCUEボタンでキューポイントを入力する。

2. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。

- 表示部に「MEMORY」と表示され、キューポイントが記憶されます。

■ ループポイントを記憶する

1. ループインポイント／ループアウトポイントを入力してループ再生する。

2. ループ再生中にCUE/LOOP MEMORYボタンを押す。

- 表示部に「MEMORY」と表示され、ループイン／ループアウトポイントが記憶されます。

■ 記憶したキュー／ループポイントを呼び出す

キュー/ループポイントが記憶されていると、表示部のプレーイングアドレス表示の下に赤色で表示されます。

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。

- CALLボタン(►)押すと、再生位置に近い方から順番にキュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。

2. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。

- 再生／ループ再生を開始します。

■ キュー/ループポイントの記憶を消去する

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。

- CALLボタン(►)押すと、再生位置に近い方から順番にキュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。

2. 消去したいキュー/ループポイントでDELETEボタンを押す。

- 表示部に「DELETE」と表示されて、指定したキューポイントまたはループポイント情報が消去されます。

■ ディスクデリート

そのディスクにに関する記憶をすべて消去します。

1. ディスクを入れる。

- CUE/LOOPポイントなどの記憶を消去したいディスクを入れてください。

2. CUE/LOOP DELETEボタンを5秒間以上押す。

- 表示部に「DISC DELETE? PUSH MEMORY」と表示されます。

2. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。

- 表示部に「DELETE」と表示され、そのディスクのCUE/LOOPポイントがすべて消去されます。

プレーヤーの記憶データを別のプレーヤーにコピーする

プレーヤーの記憶データ（キューポイントやループ）を別のプレーヤーにコピーすることができます。

1. ディスクを入れていない2台のCDJ-800MK2*のDATA IN/OUT端子どうしを、ミニプラグ付コードで接続する。

☞P.9

- 付属のコントロールケーブルを使用することもできます。

* CDJ-800からCDJ-800MK2へのデータコピーも可能ですが、CDJ-800MK2からCDJ-800へのデータコピーはできません。

2. 送信側のプレーヤーのLOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンを5秒以上押し続ける。

- 送信側プレーヤーのLOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンが点灯し、表示部に「COPY」と表示されてデータ送信モードになります。
- BPM表示部に、プレーヤーに記憶されているディスクの枚数が表示されます。

3. 受信側のプレーヤーのLOOP IN/REALTIME CUEボタンを5秒以上押し続ける。

- 受信側プレーヤーのLOOP IN/REALTIME CUEボタンが点灯し、表示部に「COPY」と表示され、データ受信モードになります。
- BPM表示部に、プレーヤーに記憶されているディスクの枚数が点滅表示されます。

4. 送信側のプレーヤーのPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。

- 送信側プレーヤーのPLAY/PAUSEボタン(►/II)が点滅し、送信側のプレーヤーのメモリーの内容が受信側のプレーヤーのメモリーにコピー（上書き）されます。
- コピーが終了すると、双方のプレーヤーの表示部に「END」と表示され、通常の動作モードに戻ります。

※ 表示部に「ERROR」と表示される場合は、データのコピーが正しく完了していません。双方のプレーヤーの電源を入れ直して、再度手順1からやり直してください。

※ 受信側は送信側のデータで上書きされますので、以前に記憶していたデータは完全に消去されます。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われがちです。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具もあわせてお調べください。
下の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）へご連絡ください。

症　状	考えられる原因	処　置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● 電源コードがつながっていない。	● 電源コンセントへつなぐ。
ディスクを入れても再生が始まらない。	● オートキュー機能がオンになっている。	● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けて、オートキュー機能をオフにする。
再生を始めてもすぐに停止してしまう。	● ディスクの表と裏を逆にして装着している。 ● ディスクのくもりなど。	● レーベル面を上にして装着する。 ● ディスクのくもりを拭き取る。
MP3を再生できない。	● フォーマットが合わない。	● 「MP3再生について」（7ページ）をご覧ください。
MP3でサーチできない。	● MP3で別のフォルダー内へサーチ（早送り／早戻し）しようとした。	● MP3のサーチは同一フォルダー内のみで可能です。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、または外れている。 ● オーディオミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。 ● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れを拭き取って接続する。 ● PLAY/PAUSEボタン（►/II）を押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れを拭き取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れを拭き取る。
オートキュー機能をオンにしていて、トラックサーチに時間がかかる。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。 ● 10秒以内にサーチできない場合、トラックの頭がキューポイントに設定される。	● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けて、オートキュー機能をオフにする。
再生中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● MP3の場合、再生中のフォルダー内にキューポイントがないとバックキューできない。	● キューポイントを設定する。（14ページ参照）
LOOP OUTボタンを押してもループ再生にならない。	● キューポイントまたはループインポイントを設定していない。 ● MP3の場合、再生中のトラック内にループインポイントがないとループ再生できない。	● キューポイントまたはループインポイントを設定する。
ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	● ジョグモード(VINYL/CDJ)が違う。	● JOG MODEボタンを押して、希望の機能のジョグモード(VINYL/CDJ)を選ぶ。
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	● 本機が影響している。	● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でディスクが停止している。	● ポーズ状態で100分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 ● ディスクの最終曲が終了後、「END」表示のまま100分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。	● PLAY/PAUSEボタン（►/II）を押すと演奏を開始します。また、EJECTボタン（▲）を押すとディスクが出てきます。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 本機は一般の12cmディスクおよびアダプターを装着した8cmディスク以外の異形ディスクの再生はできません。（故障・事故の原因になることがあります。）
- 本機で測定したBPM値が、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- CD-R/RWディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>エラータイプ</th><th>エラー内容</th><th>原因と処置</th></tr>
<tr><td>E－72 01</td><td>TOC READ ERROR</td><td>TOCデータが読み取れない。</td><td rowspan="2">(ディスクにひび割れがある。
→ディスクを交換する。

ディスクが汚れている。
→ディスクをクリーニングする。
他のディスクで正常に動作する場合は
ディスクに原因があります。</td></tr>
<tr><td>E－83 01
E－83 02
E－83 03</td><td>PLAYER ERROR</td><td>正常に演奏できないディスクが装着されている。</td></tr>
<tr><td>E－83 04</td><td>MP3 DECODE ERROR</td><td rowspan="2">正常に演奏できないディスクが装着されている。</td><td rowspan="2">MP3フォーマットに従っていない。
→MP3フォーマットに従ったディスクに交換する。</td></tr>
<tr><td>E－83 05</td><td>DATA FORMAT ERROR</td></tr>
<tr><td>E－91 01</td><td>MECHANICAL TIME OUT</td><td>規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。</td><td>ディスク挿入部に異物が入っている。
→異物を取りのぞく。</td></tr>
</table>

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

- **保証期間について**
  保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
  本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

本書の「故障?ちょっと調べてください」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

- **保証期間中は**
  万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)にご相談ください。保証書の規定に従って修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所 ・ お名前 ・ お電話番号
- 製品名:コンパクトディスクプレーヤー
  型番 :CDJ-800MK2
  お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

- **保証期間が過ぎているときは**
  お買い求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。
営利的目的での(収益の発生するような)、実際の放送(地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット(企業内ネット)あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム(音楽の有料配信など)のためにはライセンスされておりません。
このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。
詳しくは**http://www.mp3licensing.com** をご参照ください。

Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理を依頼される場合は、取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②ご購入日　③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

＜下記窓口へお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

■ テクニカルサポートセンター（フリーダイヤル）
受付　月曜～金曜　10：00 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00　（弊社休業日は除く）

▽ DJ機器のご相談窓口　電話（フリーダイヤル）　0120-545-676
ファックス　03-3763-9503

▽ インターネットホームページ　http://www.pioneer.co.jp/support/index.html
※ 商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

■ 部品受注センター
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　0120-5-81095
一般電話　0538-43-1161
ファックス（フリーダイヤル）　0120-5-81096

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

■ 修理受付センター（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 19：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　0120-5-81028（ゴーパイオニア）
一般電話　03-5496-2023
ファックス（フリーダイヤル）　0120-5-81029

▽ インターネットホームページ　http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html
※ インターネットによる修理受付対象品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります。

■ 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　098-879-1910
ファックス　098-879-1352

長年ご使用の製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- ◆ 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ◆ 電源コードにさけめやひび割れがある。
- ◆ 電源が入ったり切れたりする。
- ◆ 本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社修理受付センターに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<05L00000>　Printed in　<DRA1411-A>